

新しい人名用漢字九百
八十三字がまもなく公示
される。今回は四百八十
字の大幅な追加だ。常
用漢字が千九百四十五
字だから、これで合計二
千二百二十八字が子の名に
使えるようになる。しか
し漢字の専門家の眼から
見ると、これら二千九百
二十八字の字体は非常に
おかしい選定がなされて
いる。新字と旧字が使え
たり使えなかったりと、
全く一貫性がないのだ。
下の表では、子の名に使
える漢字に○を、使えな
い漢字に×を付けてみた
。なぜこんな変なこと
になっているのだろうか。
実はこの背後には、人名
用漢字の全く一貫性のな
い度重なる方針変更があ
る。

昭和三十二年の戸籍
法施行規則に始まる。出
生届に書く名を当時の当
用漢字表千八百五十字に
制限したもので、漢字制
限論の真つ只中でおこな
われた。当時の当用漢字
表は新字への移行の途上
にあり、たとえば欧や榮
は新字にな
っていた
が、清や嬢
は旧字だった。したがっ
て、この時点での人名用
漢字は、新字と旧字が混
ざったものだった。

安岡 孝一

一貫性ないおかしな選定 新字から旧字中心主義に大転換

27日に公示される人名用漢字の新字旧字の使用比較

欧○	歐×	搖○	搖○	哨×	哨○	礼○	禮○
段○	段×	瑤○	瑤×	消○	消×	社○	社○
鷗×	鷗○	謡○	謡○	梢○	梢×	祁×	祁○
俠×	俠○	喝○	喝×	硝○	硝×	祈○	祈○
峽○	峽○	渴○	渴×	鞘×	鞘○	祇×	祇○
挟×	挟×	掲○	掲×	濯○	濯×	祉○	祉○
狭○	狭○	掲○	掲×	濯×	濯○	祝○	祝○
勞○	勞×	謁○	謁○	權×	權○	祖○	祖○
榮○	榮○	僧○	僧○	耀○	耀×	祢○	祢○
螢○	螢×	僧×	僧○	曜○	曜×	祐○	祐○
營○	營×	增○	增○	耀○	耀×	神○	神○
壤○	壤×	增×	增○	躍○	躍×	祥○	祥○
嬢○	嬢○	贈○	贈○	清○	清×	視○	視○
讓○	讓○	堵×	堵○	情○	情×	禱×	禱○
釀○	釀○	渚○	渚○	晴○	晴×	祿○	祿○
填×	填○	猪○	猪○	靖○	靖×	福○	福○
慎○	慎○	猪○	猪○	精○	精×	禍○	禍○
慎○	慎○	諸○	諸○	請○	請×	禎○	禎○
鎮○	鎮○	儲×	儲○	鏘○	鏘○	禪○	禪○



やすおか・こう
いち氏 1965年堺市生まれ。京都大学工学研究科修士課程修了。同大学大型計算機センター一助教授などを経て現職。著書に「文字コードの世界」など。

示され、当用漢字表が廃止された結果、人名用漢字も大きく方針を変更せざるをえなくなった。旧字は基本的に子の名に使えないことになったので、たとえば新字中心主義である。ただしこれには例外があつて、当用漢字表は、平成二年の人名用漢

字の追加でも踏襲され、ち、常用漢字表に旧字としてカッコ書きで示されたものだけのは、当分の間、使用を認められた。この人名用漢字許容字表二百五字がそ

はなく、清や嬢など旧来の当用漢字表の字も使つてよい、ということだ。この結果、人名用漢字では、多くの字で旧字と新字の両方が使えることとなつた。昭和二十六年と五十

一年に内閣告示された人名用漢字表について、市民事務局は同様の方針を貫き、告示された字体に加えて、それらの旧字も新字も子の名に使えることになっていた。

この際には、従来の方針を一八〇度転換したものであつた。今、昭和三十二年の戸籍法施行規則に始まる。出生届に書く名を当時の当用漢字表千八百五十字に制限したもので、漢字制限論の真つ只中でおこな

人名漢字 大幅追加

一年に内閣告示された人名用漢字表について、市民事務局は同様の方針を貫き、告示された字体に加えて、それらの旧字も新字も子の名に使えることになっていた。

と人名に関しては様子が違つていた。当時の法務府民事局は、当用漢字字体のみならず当用漢字表の字も引き続き子の名に使用してよい、という見

解を示したのである。たとえば、清や嬢などの当用漢字字体の字だけで

してその標準となるべき字体を示したものでしたが、その内容は旧字こそ正字であると言わんばかりだった。今回追加される人名用漢字は、もちろん常用漢字以外の漢字だから、国語審議会に

京都新聞2004年9月17日

と、昭和三十六年に常用漢字表が内閣告示された。この結果、人名用漢字も大きく方針を変更せざるをえなくなった。旧字は基本的に子の名に使えないことになったので、たとえば新字中心主義である。ただしこれには例外があつて、当用漢字表は、平成二年の人名用漢

字の追加でも踏襲され、ち、常用漢字表に旧字としてカッコ書きで示されたものだけのは、当分の間、使用を認められた。この人名用漢字許容字表二百五字がそ

この際には、従来の方針を一八〇度転換したものであつた。今、昭和三十二年の戸籍法施行規則に始まる。出生届に書く名を当時の当用漢字表千八百五十字に制限したもので、漢字制限論の真つ只中でおこな